

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



あすなろ学園市町支援グループでは、
「途切れのない支援システム」の構築を共働します

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなろ学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）の設置
- ② 市町の保健・福祉・教育行政と共働した保育所・幼稚園での早期発見・支援・発達チェック、個別の指導計画の普及定着 ・市町の療育システムの構築
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

どこに住んでも途切れなく

～発達総合支援室の設置を目指し共働します～

あすなろ学園市町支援グループは、三重県に生まれ育つすべての子どもの、発達に応じた支援が、市や町で、途切れなくできるようなシステム作りを推進しています。

発達総合支援室は、市町の保健・福祉・教育の窓口を一元化し、発達障がいだけでなく、すべての子どもの問題や心配事の駆け込み寺的な存在であり、子どもの発達や地域での子育てを支える機能です。現在、三重県では、9市町（桑名市、いなべ市、亀山市、鈴鹿市、津市、伊賀市、松阪市、玉城町、志摩市）に設置されています。さらに、このシステムは、三重県モデルとして注目されており、岐阜県や長野県の市町でもシステムが構築されつつあります。

今後も、各市町の実情を、共に考えながら、「途切れのない支援システムの構築」に取り組んでいきます。

「システム構築について勉強したい」「先進的な市町のことを知りたい」「事例検討会を通してスキルアップしたい」「保育所・幼稚園での支援の充実のために勉強会を開催したい」「地域にこんな支援があったらいいな」等のご意見・ご要望をお待ちしています。



三重県の「めざす姿」とあすなろ学園の「市町への支援状況」をポスター掲示しました。
(8月5日：あすなろ学園シンポジウム)

Voices

貴重なご意見
ありがとうございます。
一部を紹介します。

*あすなろ学園シンポジウム「これからの地域子育てを考える」(8/5) アンケートより

- ・途切れのない支援の継続、就労支援の充実を願っています。
- ・地域支援が市や町によってこんなにも違うとショックです。
- ・三重県内、どこに住んでも、途切れなく支援が受けられるようにしてもらいたい。
- ・私の市は、アドバイザーさんもいて、支援室もあって、ラッキーだなと思いました。

「幼児期の個別の指導計画」を作成したい

～2010 夏 途切れのない発達支援研修会 開催～

8月23日から3日間、講演会「途切れのない発達支援」とワークショップ「個別の指導計画を作成しよう」を開催しました。講演会では、子どもの困り感や子どもの見方、具体的なアイテム（折り紙の工程表、靴箱などの環境設定の写真）を提示しながら、集団での支援と個別の支援の数々、保育所・幼稚園からの支援の引き継ぎの重要性などをお伝えしました。ワークショップでは、保育の中でできる環境設定、保育士の動き方、子どもへの声のかけ方など講演会で紹介した支援を活用しながら、課題を絞り込んで、“いつ、どこで、だれが、どのように、何回、どれくらいの期間・・・”と具体的に指導計画を作成しました。

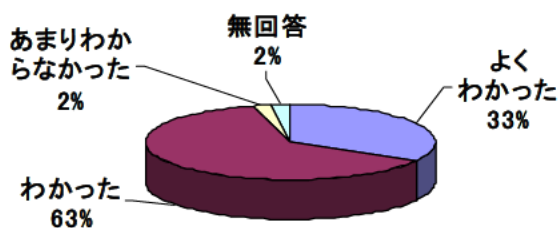
短い時間でしたが、活発に意見やアイデアが出され、「こんなふうに絞って考えたら作成できる」「園内で話合って子どもの支援につなげられる」と実感された声が多く寄せられました。



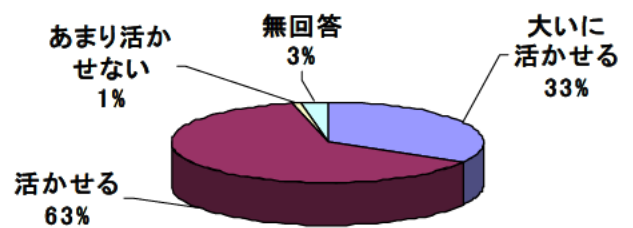
<アンケート結果>

総参加者数：197名 アンケート回収率：96%

ワークショップを通して、「個別の指導計画」の作成の仕方がわかりましたか？



「発達チェックリスト」「個別の指導計画」は、今後の保育や教育に活かされますか？



- ・この研修会やワークショップを参考に園内研修を実施させていただきます。
- ・優先順位 1つを考えていくだけでも色々な考え方を学ぶことができました。
- ・できるところから課題を低くして取り組むことで、成功をたくさんしていくことが大切と改めて感じました。
- ・前のシート（チェックリスト・個別の指導計画）より具体的にしぼりこめるのでよいと思いました。
- ・エピソードを混ぜながら保護者支援についてもまたお聞かせいただけたら嬉しいです。

*多数のご参加、アンケートのご協力ありがとうございました。



市町からのNEWS



☆市町支援グループが取材しました☆

今回は、いなべ市の療育と鳥羽市のシステム構築に向けた取り組みについて、お伝えします。
あすなる学園での研修を終えた「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」が、地元の市町で、「途切れない支援システム」の構築や更なる支援の充実を推進しています。
あすなる学園も、子どもたちが生まれ育つ市町でのよりよい支援に向けて、アドバイザーや市町の皆様と共に取り組んでいます。

地域で療育を



いなべ市 チャイルドサポート

～「出前式集団療育」を立ち上げました～

あすなる学園で一年間研修を終了した「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」が中心となり、3つの療育を展開しています。

<1>ステップアップ教室（福祉センターでの4～5人の集団療育）<2>出前式個別療育（保育所での1対1の個別療育）<3>出前式集団療育です。

この出前式集団療育は、3人程度の子どもと2人のアドバイザーが保育所で行います。

- ① Aアドバイザーが個別に子どもへわかりやすく遊びのルールを伝え、子どもと遊びの練習をします。
 - ② クラスでの集団遊び（例えば、椅子とりゲーム）の進行をBアドバイザーが担任に代わって行います。
 - ③ Aアドバイザーは支援者として、クラス集団の中で、個別支援をします。
 - ④ Bアドバイザーから担任へ、Aアドバイザーから加配保育士へ支援を引き継いでいきます。
- 規律あるわかりやすい保育の推進を目指して、出前式集団療育を行っています。

キックオフ



鳥羽市 支援システム検討委員会

～途切れない支援システムの構築に向けて～

鳥羽市では、途切れない支援システムの構築に向けて、保健・福祉・教育の行政職員が一同に集まり、キックオフ会が開催されました。

8月2日には、あすなる学園とともに、志摩市ふくし総合支援室を視察訪問しました。

志摩市の発達障がい児の支援システム機能について、設置の経緯や人材の配置、構築に関わる予算等、活発な意見交換がされました。訪問を通して、支援システムの具体的な姿とその必要性を改めて学ぶ機会となりました。

さらに視察を受けて、第1回鳥羽市支援システム検討委員会が始動しました。

よりよい支援システムをめざして、現在の課題を明確にしながら、検討を進め、「“相談窓口の一元化”を含め、鳥羽市ならではのシステムを作りたい」という意気込みで推進中です。

発達総合支援室の設置に向けて、あすなる学園も応援していきます。



8月2日 志摩市役所にて

みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修のひとこま (巡回研修)

今年度の「みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修」も半年が過ぎました。あすなろ学園での実習では、子どもたちと向き合い、子どもの困り感や発達に応じた支援について学んでいます。また、システム構築や子ども支援の現状を知り、地元で活かせるよう、視察研修にも出かけています。

巡回研修では、地元市町の保健・福祉・教育行政担当者とともに、保育所・幼稚園での子どもの観察と個別の指導計画の立案を行っています。支援システム構築に向けて、市町の担当者と支援の進捗管理し、具体的な指導計画が立案できるよう研修を重ねています。



個別の指導計画検討会の進行をしています。

～参加者の声～

- 気になる行動ばかりに目がいってしまっていた。保育士が何をすればいいかがわかった。(担任保育士)
- 来年入学する子どもたちが保育所でどのように過ごし、どんな支援や工夫がなされているかがよくわかった。小学校でも支援の継続をしていくことが大切だと再認識した。(小学校校長)
- 小学校の先生に、保育所での様子を知ってもらえた。小学校へ引き継ぐ第一歩となった。(園長)
- 研修後、町に戻ってきてくれて、保育士のスキルアップにつなげてほしい。(園長)
- 子どもの成長が確認できた。町の関係者で支援を考えられるよい機会となった。(保健師)

インフォメーション

○ 冊子「せんせいこうしてみたら」(あすなろ学園作成)を配布します。

子ども集団による遊びや日常生活の中で生じるトラブルをどのようにすればうまく収めて、子どもの育ちに役立つように導いていくことができるのか、あすなろ学園の療育の経験をまとめた冊子です。

集団場面で「イライラしてトラブルになる」「負けると暴力をしてしまう」など、子どもの様子ごとに、対応の仕方具体的な言葉かけとイラストで解説。

「チーム内での協力」「妥協(負けても次がんばろう)」などを学ぶことができるような楽しい遊びと遊びの進め方を解説。

ポスターを用いてクラスでうまくつきあう方法(お話は静かに聞く など)を紹介。



＜配布方法＞

各市町の教育委員会で必要数を取りまとめているので、各学校・学童クラブ等で希望がある場合は、その旨を各市町の教育委員会へお伝えください。

2010年10月15日

＜発行＞三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL: 059-234-8700 FAX: 059-234-9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.jp/ASUNARO/HP/